

2011年3月18日金曜日

報道各位

株式会社エフエムあやべ

東北にラジオを送ろう！キャンペーン ～私たち被災地から離れたコミュニティ放送局が、今できること～

被災された方を元気づけられるのはラジオから流れてくる音楽やメッセージ。ラジオから発せられるメッセージは強く被災者の心に届きます。ラジオは停電でも情報が入手できる唯一の情報入手手段であり、高齢者や視覚障害者でもスイッチひとつで操作できるやさしい情報ツールです。

全国に 244 あるコミュニティ放送局のうち東日本大震災で多くの私たちの仲間の放送局が被災を受けています。福島原発の 30km 避難地域の入っており社屋で待機しながら放送を続けている放送局や不足するガソリンをなんとか工面して自家発電で放送を続けている局、社屋に甚大な被害がある中、地域の為に放送を継続するため、多くのスタッフが自宅に戻らず 24 時間の放送を続けています。

しかし、いま、東北地方を中心とした被災地では、大切な情報源であるラジオがたいへん不足しています。そこで、FM いかるでは、所属する JCBA（日本コミュニティ放送協会）の呼びかけで、リスナーの皆さんのご家庭で眠っているラジオやラジカセを集めて、被災地の方々に届けようというキャンペーンを行うことにしました。

いま、個人が東北へ支援物資を送るのはかえって混乱を招きます。特にすでに使用したものや中古品などは迷惑になります。しかし、ラジオは動けば中古品でも結構です。また、交通手段が寸断されているため支援物資が現地まで届かなくなっていますが、被災地への輸送ルートが私たちの仲間である新潟県の FM ながおか様経由で可能となっています。

ご家庭でご使用にならないラジオやラジカセがありましたら、FM いかるまでお持ちください。また、高齢者、障害者の方は FM いかるまでお電話を頂ければ引き取りに伺います。お持ちいただくラジオやラジカセは、電池が切れていたり、聴けなくなっているものでも構いません。ただし、電池で聴けるものに限らせていただきます。可能であれば、できるだけ予備の新品電池をお願いします。

東北へラジオを送ろうキャンペーン 企画概要

～私たち被災地から離れたコミュニティ放送局が、今できること～

(株)エフエムあやべ“FMいかる”

企画趣旨

東北地方太平洋沖地震で避難所にいる被災された方を元気づけられるのはラジオから流れてくる音楽やメッセージ。ラジオから発せられるメッセージは強く被災者の心に届きます。また、ラジオは停電でも情報が入手できる唯一の情報入手手段であり、高齢者や視覚障害者でもスイッチひとつで操作できるやさしい情報ツールです。しかし、いま、被災地では、大切な情報源であるラジオがたいへん不足しています。そこで、FMいかるでは、所属するJCBA（日本コミュニティ放送協会）の呼びかけで、リスナーの皆さんのご家庭で眠っているラジオやラジカセを集めて、被災地の方々に届けようというキャンペーンを行うことにしました。

キャンペーン内容

タイトル：東北へラジオを送ろうキャンペーン

～私たち被災地から離れたコミュニティ放送局が、今できること～

期間：3月18日（金）～3月25日（金）午前9時～午後5時

※土日祝も受け付けます。また期間以降もFMいかるの備蓄として受け付けます。

内容：ご家庭でご使用にならないラジオやラジカセをFMいかるまでお持ちください。また、高齢者、障害者の方はFMいかるまでお電話を頂ければ引き取りに伺います。ただし、電池で聴けるものに限りです。可能であれば、できるだけ予備の新品電池をお願いします。集めたラジオは、新潟県のコミュニティ放送局、FMながおか様経由で被災地へ送ります。

送り先：エフエムあやべ（FMいかる）〒623-0016 綾部市西町1丁目65番地

TEL：0773-42-9988 FAX：0773-42-9977 メール：info※fmikaru.jp

携帯電話：090-5897-8980（井関）

ラジオについて

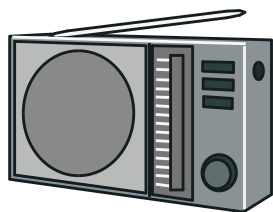
1. 電池で可動式（大型ラジカセは除く）
2. 動作するもの

※可能であれば、できるだけ予備の新品電池をお願いします。ただし、電池切れの場合は、FMいかるで新品に取り替えます。

お問い合わせは (株)エフエムあやべ・井関

電話 42-9988・ファックス 42-9977・Eメール・info※fmikaru.jp

FM いかるまで使わなくなったラジオをお持ちください。



FM いかる キャンペーン 東北にラジオを送ろう!

～私たち被災地から離れたコミュニティ放送局が、今できること～

東北地方太平洋沖地震で避難所にいる被災された方を元気づけられるのはラジオから流れてくる音楽やメッセージ。ラジオから発せられるメッセージは強く被災者の心に届きます。また、ラジオは停電でも情報が入手できる唯一の情報入手手段であり、高齢者や視覚障害者でもスイッチひとつで操作できるやさしい情報ツールです。しかし、いま、被災地では、大切な情報源であるラジオがたいへん不足しています。そこで、FM いかるでは、リスナーの皆さんのご家庭で眠っているラジオやラジカセを集めて、被災地の方々に届けようというキャンペーンを行っています。

期 間 3月18日（金）～3月25日（金）午前9時～午後5時
※土日祝も受け付けます。

内 容 ご家庭でご使用にならないラジオやラジカセをFM いかるまでお持ちください。また、高齢者、障害者の方はFM いかるまでお電話を頂ければ引き取りに伺います。ただし、電池で聴けるものに限りです。可能であれば、できるだけ予備の新品電池をお願いします。集めたラジオは、新潟県のコミュニティ放送局、FM ながおか様経由で被災地へ送ります。

送り先 エフエムあやべ（FM いかる）〒623-0016 綾部市西町1丁目65番地
TEL: 0773-42-9988 FAX: 0773-42-9977 メール: info@fmikaru.jp
携帯電話: 090-5897-8980（井関）

ラジオについて

1. 電池で可動式（大型ラジカセは除く）
2. 動作するもの

※可能であれば、できるだけ予備の新品電池をお願いします。ただし、電池切れの場合は、FM いかるで新品に取り替えます。